

佐藤 仁志 議員

無会派



問 弥富駅計画の根本的な見直しを

答 必要とされる施策を推進

○JR名鉄弥富駅自由通路整備事業について以下を問う。

問 踏切の整備歩道設置が先ではないか。

答〔建設部長〕 安全性利便性の高い駅前空間の形成を推進し、連鎖的な整備の中で、踏切道拡幅に繋げていく。

問 JRを橋上駅舎化せずに、自由通路だけに変更すれば建設費が安くなるのではないか。

答 現計画により事業を進める。

問 市長は、就任早々に自由通路は中止すると発言した理由は。

答〔市長〕 事業の中止でなく、事業の実施を延期しながら、できるだけ財政調整基金を減らさぬよう述べた。

問 市長は、市民の安全と安心を守る防災以外に力を入れていくという市民の声に対して説明を。

答 第2次弥富市総合計画の中で重点施策に位置付けられ、長い年月をかけて計画が整ったことから、事業に着手したものの、必要とされる施策等を総合的に推進し、市政に反映していく。

問 対話と合意、実践力の防災を

答 必要に応じ防災対策に生かす

答〔総務部長〕 職員研修の充実を図り、様々な部署で業務経験を積ませて、職員の資質向上に努める。

答〔防災課長〕 今後も物資供給や配送等の災害協定を取り入れ、本市にあった備蓄管理に努める。

問 充実した防災拠点備蓄基地が整備されているが、そのノウハウを本市でも生かせないか。

○行政視察で訪れた東松島市の災害対応と復興の教訓を生かすため以下を問う。

問 コミュニティセンターなどを自治会等へ移管する検討をしては。

答〔防災課長〕 移管することとは考えてない。

問 公民館活動と職員の自治会への支援が、職員の聞く力、答弁力、調整力を向上させた。本市も参考にしたい。



▶ 防災拠点備蓄基地

